

三上日出夫教授，秋田俊一教授定年退職記念 紀要発刊に当たって

札幌大学女子短期大学部部长

小 澤 清

三上日出夫先生には，昭和42年4月，札幌大学の開学と共に教養部助教授として赴任されました。翌年教授に昇格，同年設置された女子短期大学の主事，学部長として，その開設に尽力され，その後22年に亘って，学生募集委員長，札幌大学開学15年史編纂委員長，学校法人札幌大学評議員等の要職を歴任，多難であった本学の歴史に大きな足跡を残されました。

先生の鋭い知性と豊かな識見は，研究・教育の両面において，大きな業績を生み出し，本学の今日の隆盛の基盤を築かれました。又，先生は責任感の強い，しかも温厚誠実な方でありまして，日常のご勤務を拝見しても，部下に仕事を押し付けるようなことは無く，独り楽しむかのように，黙々と研究・教育に精励され，その上，ご多忙にも拘らず，我々の様々な相談にも快く貴重な時間を割いて頂けたことなど，先生の大きな抱擁力は，苦難の本学の歴史の中で，一つの灯明の役割を果たしていたものでした。

秋田俊一先生には，女子短期大学部に昭和57年4月に赴任，経営学科管理専攻の開設に参加，爾来，7年間に亘って，日本常民文化研究所，北海道総合経済研究所特別研究員などの豊富なご経験を生かされ，学科基盤の拡充発展に多大なご尽力を頂き，学科が今日の隆盛を見ましたことは，衆目の等しく認める所であります。先生の本学での研究・教育に於けるご活躍はその青年のような情熱と相まって刮目すべきものがあり，その業績は枚挙に暇がありません。その傍ら，札幌大学教職員組合委員長として，その誠実なお人柄は，教職員の生活条件の向上並びに労使間の信義確立に大きく力を尽くされました。

今回のお二人の先生のご退官は本学の大きな損失であるばかりでなく，我々の大きな悲しみであります。ここに，先生方の今後の御健康と御活躍をお祈りして，お送りする言葉としたいと思います。